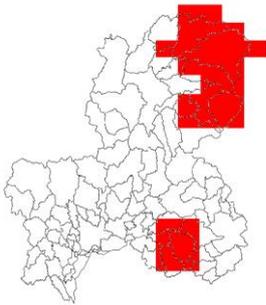


ヤチスギラン	<i>Lycopodium inundatum</i> L.	絶滅危惧Ⅱ類
		ヒカゲノカズラ科
選定理由	生育地である湿地の減少と荒廃が顕著であるうえ、大部分の生育地において、生育環境の変化による種の存続へ圧迫が強まっている。	写真(村瀬正成)
形態の特徴	匍匐茎が湿地の表面を短く這い、まれに分岐し、直立した単一の茎をつける。孢子囊穂は茎の頂部に1-2本つく。	
生態的特徴	冬になるとほとんどの部分が枯死するが、匍匐茎の先端だけで越冬する湿地生のシダ。	
分布状況	北海道・本州(近畿以北)の湿原に分布する。岐阜県では県北部に分布するが、県南部の一部湿地にも産地がある。	
減少要因	生育地の開発による埋め立て。湿地植生の変化による乾燥化や他の植物からの被圧。湿地が富栄養化したため外来種が侵入し、生育箇所が狭められた例もある。	
保全対策	湿地の保護、保全など生育環境維持活動。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成